

川越の朝は元氣いっぱい
9月

川越市倫理法人会 モーニングセミナーのご案内

入場無料

6日

◆テーマ◆ 1,224回 3条
「運命は自らまねき、境遇は自ら造る」



いたばし倫理法人会
もろはしひろあき
専任幹事 諸橋 宏明

「万人幸福の業」に基づく経営者のための「爆速」目標達成戦略をお伝えいたします。

13日

◆テーマ◆ 1,225回 4条
「倫理の学び・気づき・実践のご報告」



川越市倫理法人会
たにの しん
幹事 谷野 信

このような機会を頂き、ありがとうございます。入会する前の状況、入会の動機、入会から2年8カ月の学び・気づき・実践についてご報告させていただきます。

20日

◆テーマ◆ 1,226回 5条
「常識の逆転」を身につける



埼玉県倫理法人会
もり ゆういち
倫理経営塾副塾長 森 勇一

・割り切りとは魂の弱さである。マネジメントの本質は、「矛盾」との対峙である。・「バランス感覚」という力量、すなわち人の器。人は鏡、相手を変えるには自分が変わればよい。・人は力があるから、重荷を背負えるのではなく、重い荷があるから力が出るのである。

27日

◆テーマ◆ 1,227回 6条
「わたしの宝物」



オフィス」代表取締役
かじまじゅんこ
フリーアナウンサー 梶間 順子

40年の時を超えて届けられた亡き母からの手紙。そこには母の、青春時代、結婚生活、子育て、闘病……。すべてが詰まっていた。

370年以上の伝統を誇る川越祭 10月19日(土)・20日(日)

「川越氷川祭の山車行事」として平成17年2月、国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年12月「ユネスコ無形文化遺産」に登録された川越祭。慶安元年(1648)、当時の川越藩主である松平信綱が、氷川神社に獅子頭や神輿などの祭礼用具を寄進したことに始まります。それから3年後、神輿行列が初めて町内を渡御。その行列の後を、町人たちは供奉しました。これが、現在の川越祭のルーツです。当時、新河岸川舟運などによって江戸との交流が深かった小江戸川越。祭りの形態は江戸天下祭の影響を強く受け、絢爛豪華な山車が曳き廻されるようになります。江戸の祭りは神輿主体に変わりましたが、川越祭はかつての江戸天下祭の様子や風情を今に伝えています。どうぞお出かけください。



会場 蓮馨寺講堂

埼玉県川越市連雀町7-1

※会場は山門入り左側。車で境内に進入できません。
※会場に電話はありません。蓮馨寺へのお問い合わせは、迷惑になりますので、お控えください。

〈お問い合わせ〉
川越市倫理法人会事務局

川越市新富町1-9-1 1F
(川越湯遊ランドホテル三光内)

☎049-223-5005

☎049-224-8636

✉kawagoe@rinri-saitama.org

